

治山対策及び豊かな森づくりの 推進について

令和8年1月
農林水産部治山課

目次

| 森林の区分と対応する森林施策 · · · · · · · · · · · · · · · · · 4

II 治山対策の推進 · 6

- 1 山地災害危険地区の整備
 - 2 山地防災・土砂災害対策計画等の推進
 - 3 減災対策による地域防災力の向上
 - 4 山地災害の復旧

III 豊かな森づくりの推進 · · · · · · · · · · · · · · · · · · · 13

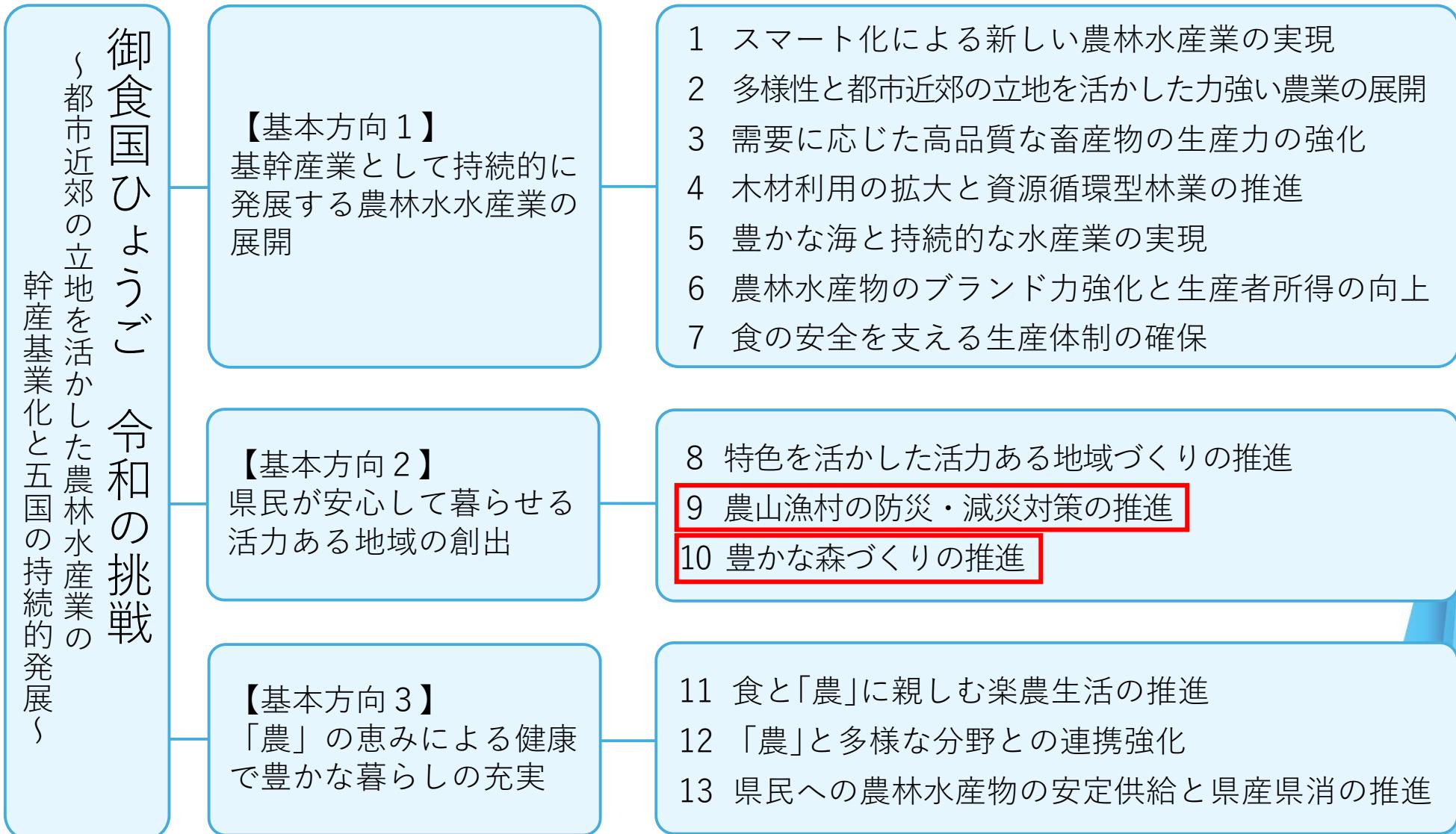
- 新ひょうごの森づくりの推進
 - 災害に強い森づくりの推進
 - 森づくりの普及啓発の推進
 - 保安林・林地開発許可制度による森林の保全
 - 森林病害虫防除対策の推進

ひょうご農林水産ビジョン2030 施策体系表における位置づけ

【めざす姿】

【基本方向】

【推進項目】



: 資料に掲載している施策項目

I 森林の区分と対応する森林施策

- ・森林は、水資源のかん養、山地災害の防止、地球温暖化の防止、生物多様性の保全など、**多様な公益的機能を有し、県民生活を支える重要な資源**
- ・近年、頻発化・激甚化する山地災害や、管理が不十分な人工林・里山林の増加への対応が課題

⇒治山対策の推進

- ・崩壊地の復旧や、「第4次山地防災・土砂災害対策計画」に基づく**治山ダム等の整備**に加え、**危険情報の提供**や災害時の避難体制整備など、**ハード・ソフト両面から県民の生命と財産の保全**を図る

⇒豊かな森づくりの推進

- ・森づくり施策は、①間伐の徹底や里山林の再生を進める「**新ひょうごの森づくり（第3期対策）**」、②県民緑税を活用し、森林の防災機能の強化を図る「**災害に強い森づくり（第4期対策）**」、③森の大切さへの理解と関心を高める「**森づくりの普及啓発**」、④保安林・林地開発許可制度の適切な運用や病害虫防除を進める「**森林の保全**」の4つを柱として展開

●平成16年台風第23号などの台風による風倒木や山崩れなどの災害を教訓に、平成18年度から「県民緑税」を導入され、災害に強い森づくりを推進



風倒被害と山腹崩壊状況

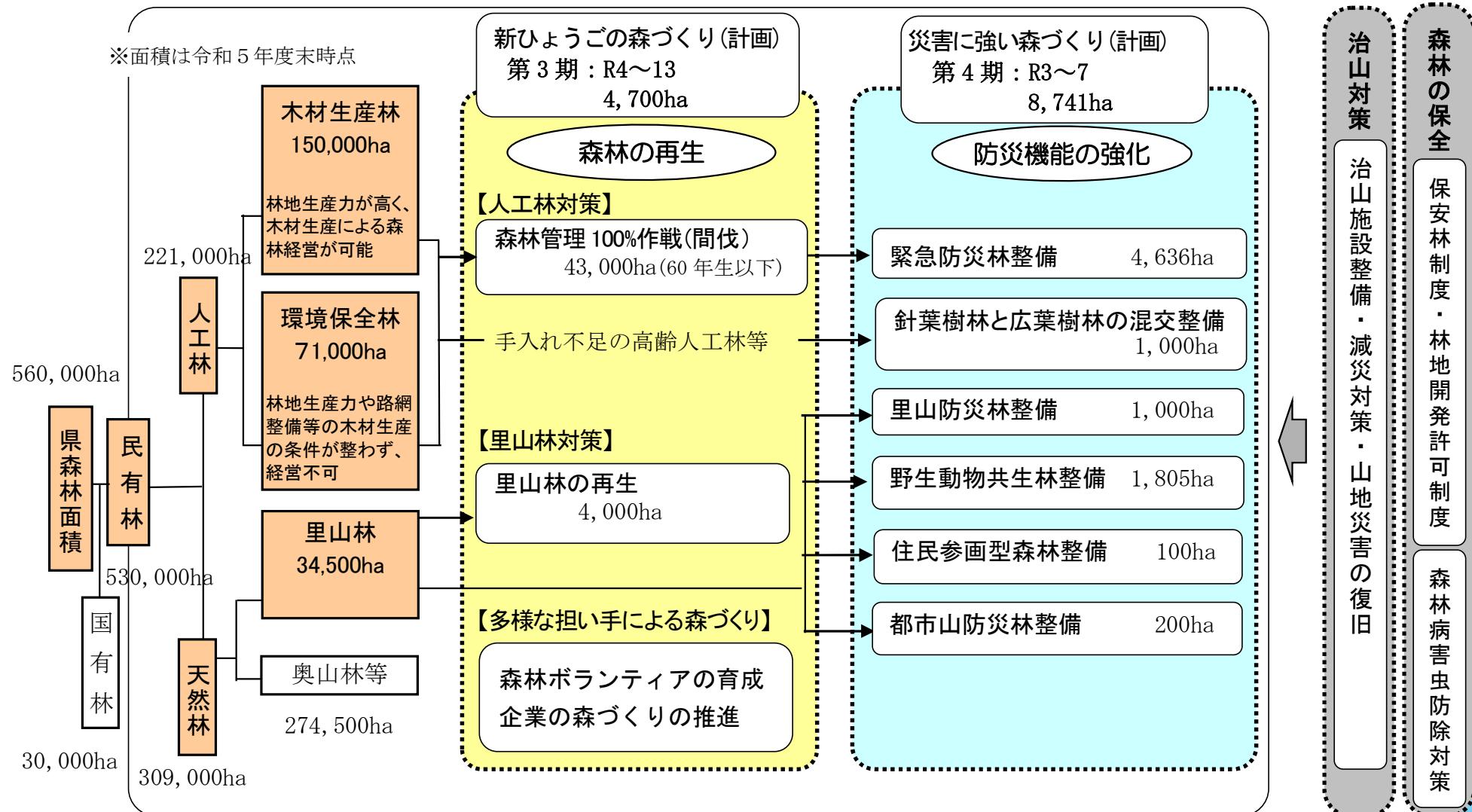
●平成21年台風第9号などによる流木・土砂災害などを教訓に、平成21年度に「山地防災・土砂災害対策計画」を策定し、治山ダム等を重点整備を推進



流木による橋梁部の閉塞

I 森林の区分と対応する森林施策

- 民有林を**人工林**と**天然林**に区分し、主に木材生産に適さない手入れ不足の**人工林**や、天然林に含まれる**里山林**を対象に、**新ひょうごの森づくり**や**災害に強い森づくり**を推進
- 治山対策や**森林の保全**については、人工林・天然林を問わず、**民有林全体**を対象に推進



II 治山対策の推進

1 山地災害危険地区の整備

(1) 山地災害危険地区の設定と整備着手状況

- ・国の「山地災害危険地区調査要領」に基づき、地形・地質、渓流の勾配等の自然的条件と、保全対象となる人家・公共施設等の社会的条件を踏まえ、降雨や地震などにより**山地災害の恐れがある地区を「山地災害危険地区」に設定**し、緊急性の高い地区から**対策工事を実施**

山地災害危険地区の種類

①崩壊土砂流出危険地区

[7,323箇所]

- ・山腹崩壊や地すべりによって発生した土砂が土石流となって流出し、人家や公共施設等に直接被害を及ぼすおそれがある地区

②山腹崩壊危険地区

[3,328箇所]

- ・山腹の崩壊や落石により、人家や公共施設等に直接被害を及ぼすおそれがある地区

③地すべり危険地区

[109箇所]

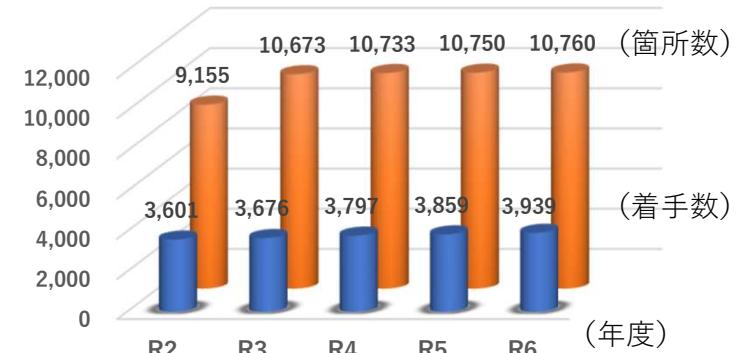
- ・地すべりにより、人家や公共施設等に直接被害を及ぼすおそれがある地区

[合計10,760箇所]

●ひょうご農林水産ビジョン2030の指標

指標名	目標 (R12)	年度目標 (R6) a	年度実績 (R6) b	達成率 b/a
山地災害危険地区の施設整備箇所数	3,900	3,672	3,939	107.3%

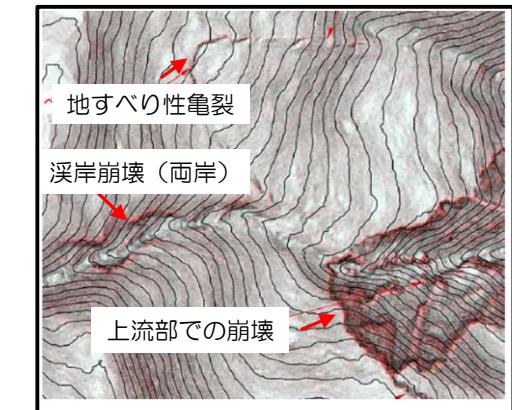
●山地災害危険地区数と整備着手状況



II 治山対策の推進

(2) 山地の微地形がわかる航空レーザ測量成果の治山事業への活用

- 崩壊跡地等の微地形を効率的かつ正確に把握するため、令和3～4年度の航空レーザ測量成果を活用し、**山地災害発生リスクの判定や治山事業の優先度評価に用いる**など、計画等の策定を効果的・効率的に実施



地形解析図イメージ

2 山地防災・土砂災害対策計画等の推進

(1) 第4次山地防災・土砂災害対策計画（令和3～7年度）

- 近年、時間雨量80mm以上の局地的豪雨が増加傾向にあり、県内でも、平成30年7月豪雨災害など流木・土砂災害が激甚化・頻発化
- このため、**令和3年度からは**国の「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」を踏まえた**第4次計画を策定**し、**人家等保全対策**及び**流木・土砂流出防止対策として、治山ダム等の重点的な整備**を推進
- 航測精度向上により山地災害危険地区の未整備箇所が増加していることから、引き続き、山地防災・土砂災害対策を推進するため、**令和8年度からの次期計画を検討中**

●第4次山地防災・土砂災害対策計画の内訳

(単位：箇所)

区分			R3	R4	R5	R6	R7	計
人家等保全対策	治山	公共	73	73	73	73	73	365
流木・土砂流出防止対策	治山	県単	45	43	43	44	45	220
緊急防災林整備 (渓流対策)	災害に強い 森づくり	県単	20	20	20	20	20	100
合計			138	136	136	137	138	685

●実績（進捗状況）

R3～6	進捗率
292	80%
175	80%
73	73%
540	79%

II 治山対策の推進

ア 人家等保全対策

- ・人家や公共施設など重要な**保全対象に近接する未整備の危険地区**のうち、緊急性の高い箇所から**治山ダム等を重点的に整備**



人家等保全対策（朝来市）

イ 流木・土砂流出防止対策

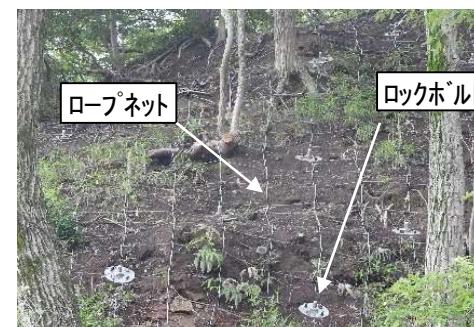
- ・**人工林率の高い谷筋**や小さな谷地形が存在する山腹斜面において、流木捕捉機能を持つ**治山ダムや山腹工などを整備**



流木・土砂流出防止対策
(丹波市)

(2) 山腹崩壊対策

- ・山地荒廃により、人家・公共施設等に直接被害を与える恐れがあるなど、緊急性の高い箇所において、**山腹崩壊の復旧**や**落石対策**等の工事を実施
- ・阪神・淡路大震災を契機に**本県が開発した耐震性を考慮した山腹崩壊防止対策工法を活用**し、国土強靭化・地震対策を推進



耐震性を考慮したロープネット・ロックボルト併用工法による対策（神戸市）



山腹崩壊・落石対策（多可町）

II 治山対策の推進

(3) 地すべり対策

- 但馬地域を中心に**地すべり災害が発生した34箇所**において、地すべり等防止法に基づき**地すべり防止区域に指定**し、行為の制限や対策工事を実施



地すべりによる滑落崖(段差)
(豊岡市:森本ユリ地区)



坑内集水ボーリングの施工
(養父市)

(4) 治山施設の維持管理と長寿命化対策

- 治山施設の防災機能を将来にわたり安定的に発揮させるため、平成25年度から**県内約1万4千の治山施設**を対象に、**点検・診断結果に基づく計画的な補修**を実施
- 令和2年度には、国のインフラ長寿命化基本計画に基づき**治山施設個別施設計画を策定**し、**優先度の高い13箇所**について令和4年度末までに**対策を完了**
- 引き続き、おおむね**10年ごとの点検**や必要に応じた**計画の更新を行う**など、**定期的な点検・診断・対策による予防保全型維持管理**を推進



アンカー工頭部キャップの劣化



アンカー工頭部キャップの更新

令和6年度 緊急機能強化・老朽化対策事業（姫路市）

II 治山対策の推進

3 減災対策による地域防災力の向上

- ・県民の的確な避難行動に役立つ**危険情報の提供や防災知識の普及・啓発**を通じ、地域の防災力の向上を図るなど、地域住民と行政が一体となった**総合的な減災対策を推進**

(1) 山地災害危険地区の周知

ア 兵庫県CGハザードマップ

- ・山地災害危険地区や被害想定区域を**県ホームページに掲載**

イ 市町を通じたポスター、チラシ等の配布

- ・**危険地区や避難所**の位置、災害の兆候にかかる注意事項等の情報を提供

(2) 防災知識の普及啓発

ア 山地防災に関する研修会の実施

- ・毎年6月に実施する「**豊かなむらを災害から守る月間**」を中心に、山地災害情報協力員(ボランティア)、自治会長等を対象に、屋内研修や現地での研修等を実施

イ 防災教室の開催

- ・各種イベントや地域防災訓練、地域住民への説明会、児童や学生を対象とした防災教室、パネル展示や過去の災害映像放映、現地見学会等により、**山地災害に関する知識や治山事業の取組を発信**

●防災研修会等の開催実績

(単位：回)

項目	R4	R5	R6
防災研修会等の開催	440	395	335



兵庫県CGハザードマップの画面



地域住民への事業説明会（丹波市）



小学校での防災教室（朝来市）

II 治山対策の推進

(3) 住民の参画による自主防災活動の支援

ア 裏山の危険箇所診断

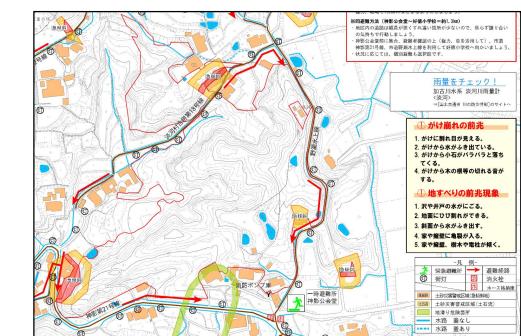
- ・**地域住民との協働**により、人家等裏山の**危険箇所の点検**を行い、現状の地形等を把握することで、今後の対策方針と自主防災活動における技術的支援を実施



人家裏山の点検（佐用町）

イ 自治会単位の防災マップの作成

- ・山地災害危険地区等の情報をもとに、地域の実情に応じた独自の避難ルートや裏山の危険箇所等が表示された**自治会単位の防災マップの作成**など、住民参画型の防災・減災活動を支援



自治会単位の防災マップ（神戸市）

<イベントでの防災知識の普及・啓発>

- ・山地災害に関する知識や防災意識の向上を目的として、平成9年から毎年開催している「六甲山の災害展」を、人と防災未来センターにおいて、令和7年8月13日から24日まで開催し、約2,150人が来場
- ・会場では、明治時代から災害が繰り返されてきた六甲山系での森林復興の歴史や、発生から30年の節目を迎えた阪神・淡路大震災の被害・復旧状況等をパネルで紹介。また、土石流模型実験装置や降雨体験装置の実演のほか、森林土壤の保水力比較実験などで子供たちにもわかりやすく解説。あわせて、インターネットでは「六甲山の災害展」サイトを公開中



土石流模型実験装置による実演

II 治山対策の推進

4 山地災害の復旧

- 令和5年度に発生した台風第7号では、香美町や養父市で日降水量が年間の極値を更新するなど記録的な大雨となり、但馬地域を中心に13箇所の災害が発生。**全箇所復旧完了。**
- 令和6年度は、6月の梅雨前線による豪雨により神戸市や丹波市で3箇所の災害が発生し、神戸市では1世帯に避難指示が発令。**全箇所復旧完了。**

【R7.12月末時点】

年災	区分	被災市町	復旧計画額 (百万円)	箇所数 (a)	復旧状況			
					着手数 (b)	着手率 (b/a)	完了箇所 数(c)	進捗率 (c/a)
R5	台風第7号(8月)ほか	香美町ほか4市町	543	13	13	100%	13	100%
R6	豪雨災害(6月)ほか	神戸市ほか2市	80	3	3	100%	3	100%



崩壊土砂が流出し事業所被害が発生
(R5.8台風第7号災・香美町)



復旧状況

III 豊かな森づくりの推進

1 新ひょうごの森づくりの推進

(1) 第3期対策（令和4～13年度）の事業実施状況

- ・県民共通の財産である森林の公益的機能を高め、健全な森林へ誘導するため、公的関与による森林管理の徹底、多様な担い手による森づくり活動の推進を基本として、人工林の間伐や里山林の再生、森林ボランティア活動を促進



森林環境税を活用して間伐を実施した人工林（朝来市）

ア 公的関与による森林管理の徹底

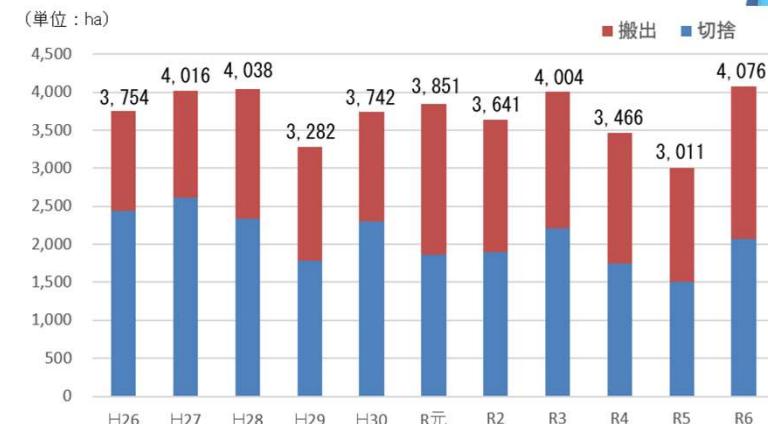
(ア) 人工林の間伐対策

- ・60年生以下の間伐が必要なスギ・ヒノキ人工林について、市町と連携した公的管理による上乗せ支援や、市町による森林環境譲与税を活用した間伐促進、機能の低下した保安林の整備を実施

●整備目標（令和4～13年度）と実績

全体計画 A	R6年度末 目標 a	R6年度末実績		全体計画 達成率 (b/A)	R6年度末 達成率 (b/a)	R7年度 計画
		累計 b	R6年度			
43,000ha	12,900ha	10,553ha	4,076ha	25%	82%	4,300ha

●森林管理100%作戦（間伐面積）実施状況



●【市町と連携した公的管理スキーム】緑化基金（県）による切捨間伐の上乗せ支援

造林事業（国庫補助）		森林所有者負担	
国庫補助金	51%	県17%	32%
国庫補助金	51%	県17%	県7.5%*
国庫補助金	51%	県17%	市町24.5%



森林管理100%作戦推進事業
※県は緑化基金を充当

III 豊かな森づくりの推進

(イ) 里山林の再生

- 集落周辺において荒廃した里山林の再生に向け、**地域住民等が自ら取り組む森林整備活動に対し**、国の交付金事業や県民緑税を活用して必要な資材・機材の購入費等を支援

●整備目標（令和4～13年度）と実績

全体計画 A	R6年度末 目標 a	R6年度末実績		全体計画 達成率 (b/A)	R6年度末 達成率 (b/a)	R7年度 計画
		累計 b	R6年度			
4,000ha	1,200ha	1,441ha	428ha	36%	120%	400ha



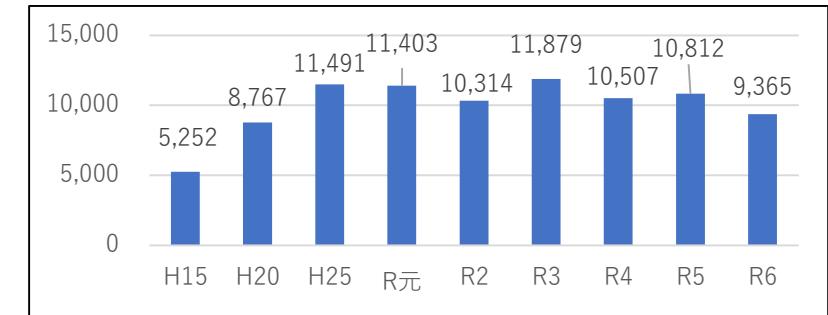
地域住民による自発的な森林整備活動
(たつの市)

イ 多様な主体による森づくり活動の推進

(ア) 森林ボランティアの養成

- 多様な担い手による森づくり活動を推進するため、**森林ボランティアを養成する講座**の開催、森林ボランティア団体相互の交流や情報交換等により、**森林ボランティア数1万人を維持**

●森林ボランティアの育成（治山課調べ）（単位：人）



(イ) 企業の森づくりの推進

- 企業のCSR（社会的責任活動）の一環として、**企業や団体等による森づくり活動を推進**するため、活動地の斡旋や森林施業の指導等を支援。令和6年度には**2社が新たに活動に参入**。

●令和6年度の活動協定の締結状況

企 業 名	活動地	締結時期
山陽特殊製鋼株式会社	姫路市	R6.5
大和工業株式会社	姫路市	R7.2

●参画目標と実績

全 体 計 画(a)	実 績 累 計(b)	R6年度		進捗率 (b/a)
48社	48社	2社		100%



企業による森づくり
(姫路市:大和工業株式会社)

III 豊かな森づくりの推進

2 災害に強い森づくりの推進

(1) 第4期対策（令和3～7年度）の推進

- 平成16年の台風災害を契機に、森林の防災面での機能強化を図るため、**平成18年度から県民緑税を活用して「災害に強い森づくり」を推進**
- 第4期中に災害リスクの高い箇所が新たに判明したことを踏まえ、早期に災害の未然防止や被害の軽減を図るため、**特に緊急性が高い箇所について、第4期追加対策（令和7～9年度）を実施**

ア 緊急防災林整備（斜面対策）

- 表土の流出を防止し植生の回復を図るため、山地災害の危険性の高い危険渓流域内にある人工林を対象に、**伐採木を利用した土留工**を設置



イ 緊急防災林整備（渓流対策）

- 流木災害等が発生する恐れのある危険渓流を対象に、**渓流沿いの危険木の除去**や**災害緩衝林の整備**のほか、**簡易流木止め施設**を設置

伐採木を利用した土留工(丹波市)

●整備目標（令和3～7年度）と実績

区分	全体計画 A	R6年度末 目標 a	R6年度末実績		全体計画達 成率(b/A)	R6年度末 達成率 (b/a)	R7年度 計画
			累計 b	R6年度			
斜面対策	4,500ha	3,600ha	3,303ha	847ha	73%	92%	900ha
渓流対策	174ha (38ha)	96ha (-ha)	79ha (-ha)	20ha (-ha)	45% (-%)	82% (-%)	44ha (4ha)

※下段（ ）は第4期追加対策分で内数

<主な整備効果>

- 斜面対策…年間の土砂流出量が、健全な森林と同程度 ($1 \text{ m}^3/\text{ha}/\text{年}$) に抑制
- 渓流対策…時間雨量50mm以上の豪雨を観測した整備地で流木等の被害が発生していないことを確認



簡易防災施設と災害緩衝林の整備(多可町)

III 豊かな森づくりの推進

ウ 里山防災林整備

- 山地災害危険地区をはじめ、倒木や崩壊のおそれのある**集落裏山の里山林を対象**に、**危険木の伐採等**の森林整備や簡易防災施設を設置

●整備目標（令和3～7年度）と実績

全体計画 A	R6年度末 目標 a	R6年度末実績		全体計画 達成率 (b/A)	R6年度末 達成率 (b/a)	R7年度 計画
		累計 b	R6年度			
1,060ha (60ha)	800ha (-ha)	1,082ha (-ha)	276ha (-ha)	81%	134% (-%)	220ha (20ha)

※下段（ ）は第4期追加対策分で内数

<主な整備効果>

- 人家等に被害の恐れのある危険木の伐採により、直接的な倒木被害を回避
- 伐採したコナラの根による土壤補強強度が、5～8年で一時的に最弱値となることを確認



集落裏山の危険木伐採（姫路市）

エ 針葉樹林と広葉樹林の混交整備

- 広範囲にわたる高齢人工林**をパッチワーク状に伐採し、伐採跡地に広葉樹を植栽し、**風水害等に強い多様な森林へ誘導**

●整備目標（令和3～7年度）と実績

全体計画 A	R6年度末 目標 a	R6年度末実績		全体計画 達成率 (b/A)	R6年度末 達成率 (b/a)	R7年度 計画
		累計 b	R6年度			
1,000ha	820ha	521ha	94ha	52%	64%	180ha

<主な整備効果>

- 植栽した区域では、年数が経過するほど樹林化
- 光環境が良い区域では、植栽したミツマタが良好に成長



伐採跡地への広葉樹植栽（宍粟市）

III 豊かな森づくりの推進

オ 野生動物共生林整備

- ・**野生動物による農作物被害が甚大な地域**を対象に、人と野生動物との棲み分けを図る**バッファーゾーンの設置**や、野生動物の生息環境を改善するための**広葉樹林整備**等を推進

●整備目標（令和3～7年度）と実績

全体計画 A	R6年度末 目標 a	R6年度末実績		全体計画 達成率 (b/A)	R6年度末 達成率 (b/a)	R7年度 計画
		累計 b	R6年度			
2,205ha (400ha)	1,444ha (-ha)	1,227ha (-ha)	244ha (-ha)	56%	85% (-%)	481ha (120ha)

※下段（ ）は第4期追加対策分で内数

<主な整備効果>

- ・6～8割の農地で、シカ等による被害が解消または減少
- ・住民の8割以上が事業実施を評価しており、多くの住民が事業を契機に柵の設置など新たな活動を開始



農地周辺のバッファーゾーン整備
(新温泉町)

カ 都市山防災林整備

- ・花崗岩が風化して崩れやすくなった**六甲山系の森林の防災機能を強化**するため、**過密化した森林の伐採整備**や**簡易防災施設**を設置

●整備目標（令和3～7年度）と実績

全体計画 A	R6年度末 目標 a	R6年度末実績		全体計画 達成率 (b/A)	R6年度末 達成率 (b/a)	R7年度 計画
		累計 b	R6年度			
220ha (20ha)	160ha (-ha)	163ha (-ha)	40ha (-ha)	74%	102% (-ha)	40ha (-ha)

※下段（ ）は第4期追加対策分で内数

<主な整備効果>

- ・整備後6年経過時点で、間伐した方が根系の成長が良好
- ・実際の森林データや3次元での水の動き等を用いたシミュレーションにより、崩壊地の絞り込み精度が向上



過密化した広葉樹林を伐採して
林内の光環境を改善(神戸市)

III 豊かな森づくりの推進

キ 住民参画型森林整備

- ・**地域住民やボランティア団体等が自発的に行う集落裏山の森林整備活動に対する資機材の購入費や、技術的に困難な施業の委託費等を支援**

●整備目標（令和3～7年度）と実績

全体計画 A	R6年度末 目標 a	R6年度末実績		全体計画 達成率 (b/A)	R6年度末 達成率 (b/a)	R7年度 計画
		累計 b	R6年度			
100ha	80ha	52ha	11ha	52%	65%	20ha

<主な整備効果>

- ・整備後、多くの集落において獣害対策が進展
- ・里山の維持管理に対する住民意識の高まり、地域内外の交流などに効果が波及



集落裏山での竹林整備
(神戸市)

(2) 災害に強い森づくり事業検証委員会（令和6年度）での意見

- ・H30.7月豪雨など過去の豪雨時における**整備完了地**での**大きな被害なし**
- ・専門的・客観的視点から整備効果を検証し、**高い整備効果を確認**
- ・災害発生が危惧される森林の増加や野生動物被害の深刻化など、**社会情勢の変化に伴う新たな課題に対応するため、継続的な取組が必要**
- ・**都市部を中心とした住民や企業の理解醸成**の重要性についても言及



事業検証委員会（R6.7月～R7.2月）

(3) 県民の理解醸成に向けた取組

- ・森林は、防災をはじめ多面的な役割を果たす重要な資源であり、こうした機能を守るための**整備の必要性**や、**県民緑税と森林環境税の役割の違い等を**、イベントや広報媒体、学校教育との連携を通じて**わかりやすく発信**するなど、県民の理解と協力を促進



啓発用
リーフレット

III 豊かな森づくりの推進

<シンポジウムの開催>

- 令和7年9月7日、神戸市で『みんなで育む未来の森づくりシンポジウム2025』を開催し、約290名が参加。災害に強い森づくりに関する基調講演や、企業・団体・学生らによるパネルディスカッションで多様な視点から議論を展開。



パネルディスカッションの状況

<高校生向け出前授業の実施>

- 令和7年6月と11月、神戸市内の県立高校2校で、森林の課題や整備の重要性、県民緑税による「災害に強い森づくり」について学ぶ出前授業を実施。保水力実験やグループワークを通じ、整備の優先度や税金の使い方を話し合う貴重な機会となった。



高校生によるグループワーク

(4) 第5期対策（令和8～12年度）の取組方針

ア 基本的な方向性

- 令和7年9月県議会で条例が改正され、県民緑税の課税期間が5年間延長
- 災害発生が危惧される森林や手入れ不足の高齢人工林の増加、野生動物被害の深刻化等の課題を踏まえ、災害リスクが高い箇所や獣害対策の効果が高い箇所を中心に対策を実施

イ 重点的に取り組む内容

- 手入れ不足の人工林対策を強化し、短期間で効率的に防災機能を高めるため、県が主導して流域全体の一体的な森林整備プランを地域に提案する新たな仕組みを導入
- 都市近郊の森林の防災機能向上を重点的に推進するため、「都市山防災林整備」の対象を六甲山系周辺に拡大し、広域での整備を強力に支援



流域全体の整備プランイメージ

III 豊かな森づくりの推進

3 森づくりの普及啓発の推進

(1) 森の大切さへの理解と関心を高める普及啓発

ア 普及啓発イベントの開催

- ・里山林においては、農村の過疎化等により担い手不足が顕在化しつつあることから、若い世代の県民にも里山林への理解を深めるとともに、里山林を守り育てる意識醸成の場として、森づくり普及啓発全県イベント「ひょうご里山フェスタ」を開催
- ・「県民緑税」の理解を深めるため、災害に強い森づくりの実施状況や整備効果について、**各種イベント等で県民に広く情報を発信**

<ひょうご里山フェスタ2025の開催>

- ・**令和7年10月12日に中川原公園**（たつの市龍野町富永地区）で開催し、林業・緑化関係の知事表彰などの式典のほか、災害に強い森づくりPRなどの展示体験ブース設置、県内の大学生が企画や運営に参加し、里山をテーマとしたステージイベントなどを催した結果、**約4,100人が来場**
- ・アフターアイベントとして**11月1日にみはらしの森**（たつの市御津町朝臣地区）にて**里山林整備体験を開催**し、里山林を守り育てる意義や技術を学びながら森づくりを体験



里山フェスタでの
緑の少年団による
宣誓（たつの市）



アフターアイベント
里山林整備体験
(たつの市)

イ 森林環境教育の推進

- ・次代を担う子供たち7,567名が「緑の少年団」を結成（県内120団）し、森づくり体験や自然学習、地域の環境保全に繋がる活動等を実施



緑の少年団森林観察会
(三木市)

III 豊かな森づくりの推進

(2) 森とふれあう公園の運営等

ア 三木山森林公園 (平成5年5月開園)

- 「人と森林との共生」をテーマに、生物多様性に配慮した自然豊かな森への再生を推進
- 市街地に隣接した緑豊かな自然の中で、県民の文化活動やレクリエーション活動をはじめ、森林環境教育の実践の場として、**人と森とのふれあいを促進**

●公園の概要

面 積	81ha
施 設	森の文化館、森の研修館、茶室、森のクラフト館、散策路、芝生広場、水辺空間 等
指定管理者	(公社)ひょうご農林機構
来園者数	524,091人 (R7.3月末)

イ ふるさとの森公園 (6公園)

- 地域の文化や生活と深く結びついた公園として、**地域住民等が中心となった**公園協会等の**指定管理者**が、施設の**維持管理を行い、県民に自然とのふれあいの場を提供**

名 称	やしろの森	ささやまの森	なか・やちよの森	ゆめさきの森	国見の森	宝塚西谷の森
開園時期	H12年7月	H14年7月	H15年3月	H15年8月	H18年8月	H20年7月
面 積	55ha	255ha	248ha	180ha	372ha	101ha
指定管理者	やしろの森公園協会	(公財)兵庫丹波の森協会	なか・やちよの森公園協会	ゆめさきの森公園運営協議会	(公財)しそう森林王国観光協会	NPO法人宝塚NISITANI
R6来園者数 (R7.3月末)	27,202人	25,360人	42,863人	28,771人	41,620人	30,616人

ウ 県有環境林の管理 (たつの市菖蒲谷県有環境林ほか15箇所・2,713.36ha)

- 森林の乱開発等を抑止するため、県が取得した長期保有土地のうち、**当面利活用が見込めない森林**について、定期巡視や危険木の伐採等の適正な維持管理を行い、**環境の保全を推進**
- 地域住民の身近な森林として、森林ボランティア団体等による環境体験学習や自然観察会等のフィールドとして活用



環境学習 (多可町)
なか・やちよの森公園

III 豊かな森づくりの推進

4 保安林・林地開発許可制度による森林の保全

(1) 保安林制度

- 水源のかん養や山地災害防止など森林の有する公益的機能を發揮するため、**特に重要な森林を保安林に指定**して、立木の伐採方法、土地の形質変更、他用途への転用等を制限

●指定目的別保安林面積（令和7年3月末現在）

種類	指定目的	面積(ha)	備考
水源かん養	洪水や渴水の防止	136,431	
土砂流出防備	表土の侵食等による土砂の流出を防止	35,435	
土砂崩壊防備	地盤の不安定な急傾斜地の崩壊を防止	4,790	
その他	飛砂防備、なだれ・落石防止、魚つき、保健等	3,060	
計		179,716	
保安林率	保安林面積÷民有林面積	33.9%	全国31.0%

●保安林指定の実績

（単位：件、（ ）内は指定面積）

種類	R2	R3	R4	R5	R6
水源かん養	4	19	44	62	14
土砂流出防備	9	19	20	38	32
土砂崩壊防備	6	4	–	2	1
計	19(309ha)	42(574ha)	64(1,477ha)	102(2,235ha)	47(722ha)



水源かん養保安林
(南あわじ市)

(2) 林地開発許可制度

- 保安林以外の森林での無秩序な開発を防止し、**森林の適正な利用と保全を確保する**ため、開発行為が森林法に基づく許可基準に適合し、適正に行われるよう**審査・指導を実施**

●林地開発許可の実績

（単位：件、（ ）内は許可面積）

開発目的／年度	R2	R3	R4	R5	R6
太陽光発電施設	4	1	2	1	–
工場・事業場	4	–	2	4	2
残土処理場	1	–	1	2	–
土石の採掘	–	–	1	–	–
レジャー施設	1	–	–	–	–
計	10(94ha)	1(4ha)	6(26ha)	7(21ha)	2(5ha)

III 豊かな森づくりの推進

<森林法所管の盛土等点検>

- 令和3年7月に発生した熱海市土石流災害を踏まえ、盛土許可地52箇所を含め、森林法所管の許可地212箇所について崩壊や沈下等の点検を実施
- 点検の結果、**5箇所において是正が必要な盛土が判明**したため、県や市町の関係部局と連携し、行為者に対して災害防止対策工事の着手等を**是正指導中**
- 県では令和5年から基礎調査を実施し、令和7年4月に盛土規制法に基づく規制区域を指定し、運用が開始

●森林法に係る是正が必要な盛土の状況

区分	箇所数	市町名
保安林無許可地	1	西宮市
林地開発無許可地	3	神戸市、猪名川町、佐用町
林地開発許可地	1	神戸市
計	5	—



開発地における指導（佐用町）

(3) 森林の保全巡視と山火事予防

- 県民局等に「森づくり指導巡視員」を配置し、無許可の伐採や開発行為の早期発見、保安林標識の点検・補修など、森林の巡視を実施
- 令和7年2月に岩手県大船渡市で発生した大規模林野火災を受け、**山火事予防**について、**市町や関係団体への周知徹底**とともに、県のホームページやひょうご防災ネットによるプッシュ通知等、**様々な情報媒体を利用**し、県民への山火事予防の**注意喚起を強化**

●森林の保全巡視の実績（令和6年度）



ハイカーへの山火事予防の注意喚起
(赤穂市)

区分／巡視別	伐採地	保安林 林地開発	山火事 予 防	標 識	治山施設	計
巡視件数	16	262	35	14,913	678	15,906
うち異常の発見等	0	0		411	0	411

III 豊かな森づくりの推進

5 森林病害虫防除対策の推進

(1) ナラ枯れ被害対策

ア 被害状況

- ナラ枯れの被害量は、**ピーク時の7%程度まで低下**したものの、依然として被害が発生

イ 被害対策の実施

- 被害状況の把握と**発生地域の状況に合わせた**対策工法による**駆除対策**を実施し、市町には**森林環境譲与税等を活用した予防対策**や跡地復旧等について助言するなど、連携して対策を実施

●年度別ナラ枯れ被害材積の状況

区分／年度	H29	R3	R4	R5	R6	R7(見込)
被害材積(m³)	9,263	3,847	7,334	4,709	2,374	620
H29年度との比較(%)	100.0	41.5	79.2	50.8	25.6	6.7

●被害対策の実績

事業内容	R3	R4	R5	R6	R7(見込)
伐倒駆除(薬剤)	336m³	144m³	79m³	24m³	14m³
伐倒駆除(チップ)	56m³	38m³	56m³	- m³	2m³

(2) 松くい虫被害対策

ア 被害状況

- 松くい虫被害量(材積)は、**ピーク時の0.8%程度**となっている。

イ 被害対策の実施

- 健全なマツへの被害防止のための**地上散布、樹幹注入等の予防**と、被害を受けたマツから虫が拡散しないよう被害木の**伐倒くん蒸等の駆除**を組み合わせて実施
- 松くい虫に抵抗性のある**「ひょうご元気松」**の被害跡地の植栽を推進し、マツ林の再生を促進

●年度別松くい虫被害の状況

区分／年度	S54	R3	R4	R5	R6	R7(見込)
被害材積(m³)	120,700	3,112	1,689	1,387	736	1,024
S54年度との比較(%)	100.0	2.6	1.4	1.2	0.6	0.8

●被害対策の実績

区分	事業内容	R3	R4	R5	R6	R7(見込)
予防	航空防除	141ha	105ha	- ha	- ha	- ha
	地上散布	18ha	18ha	18ha	18ha	18ha
	樹幹注入	293本	- 本	19本	39本	315本
駆除	伐倒駆除	1,111m³	1,547m³	1,152m³	374m³	246m³